

1. 小学校外国語活動の目標とその特色

<小学校外国語活動の目標>

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。

- ① 外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深める。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③ 外国語を通じて、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる。

↓
コミュニケーション能力の素地を養う

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

<中学校外国語の目標>

- ① 外国語を通じて、言語や文化にたいする理解を深める。
- ② 外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。
- ③ 聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

2. 文部科学省による外国語活動のカリキュラム・教材・資料・事業、研修

<カリキュラム・教材>

21・22・23年度 希望全小学校に配布

- ・「英語ノート」
- ・「英語ノート」指導資料

21年度 希望全小学校に配布

- ・「英語ノート」デジタル教材（絵カード350枚含）

<研修資料>

- ・「小学校外国語活動 研修ガイドブック」（20年度各小学校に配布）
- ・DVD（外国語活動授業の実際、22年度教育員会に配布）

<研修>

22年度

- ・「平成22年度小学校における英語活動等国際理解活動指導者養成研修」（独立行政法人教

- 員研修センター・研修開催地教育委員会・文部科学省) (5会場にて三日間)
- ・校内研修 (各校)

3. 小中・小小連携

中学校外国語科

- ・週3時間から週4時間へ時数増加
- ・900語から1200語へ語彙増加
- ・基本的に学習内容は変化なし
- ・小学校に外国語活動導入で「特に音声面を中心として外国語を用いたコミュニケーション能力の素地が育成されることになった。」このため、中学校段階では、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能をバランスよく育成
- ・「小学校段階で「聞くこと」にある程度慣れ親しんでくる」

平成22年度

横浜市国際文化都市特別委員会

外国語活動を通して
子どもに身に付けさせたい力

文部科学省 初等中等教育局 教育課程課・国際教育課
国立教育政策研究所 教育課程研究センター

直山木綿子

学習指導要領改訂の基本的な考え方

外国語教育の充実

科目編成

高等学校

コミュニケーション能力の育成

授業時数増加

中学校

コミュニケーション能力の基礎の育成

高学年に外国語活動導入

小学校

コミュニケーション能力の素地の育成



外国語教育の充実

○小学校 外国語活動を導入

- ・ 聞くこと、話すことを中心に指導（小5・6）

○中学校 時数増加

- ・ 聞く・話す・読む・書く技能を総合的に育成
- ・ 言語活動の充実、4技能を統合的指導
- ・ 学習内容基本的に増加なし
- ・ 語数を増加 900語程度まで→1,200語程度
- ・ 教材の題材を充実

○高等学校 科目編成

- ・ 指導する標準的な単語数増加
1,300語→1,800語
(中高で2,200語→3,000語)
- ・ 授業は英語で行うことを基本とする

小学校外国語活動

- 平成23年度より，第5及び第6学年において週1コマ（年間35時間を標準）
- 学校の判断で，平成21年度より実施可
- 教科としては位置づけず

中学校外国科

- 平成24年度より，週3コマから4コマに増加（年間105時間→140時間）
- 指導する語数は，1，200語程度
- 中学校は，従前より，教科担任制



幼稚園教育要領、小・中学校学習指導要領等のポイント

教育内容の主な改善事項

言語活動の充実

理数教育の充実

伝統や文化に関する教育の充実

道徳教育の充実

体験活動の充実

外国語教育の充実



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

学校教育における外国語教育の現状と課題(中教審)

- グローバル化への対応の必要性（各国における小学校段階での英語必修化等）
- 基本的な語彙や文構造を活用する力が十分身につけていない，まとまりのある一貫した文章を書く力が十分身につけていない
- 中学校において，授業が分からない生徒の割合が他の教科と比べて高い
- 高等学校において，「英語Ⅰ」において文法・訳読中心となっている，また，「OCI」において「聞くこと」「話すこと」を中心とした指導が十分になされていない等の指摘もあり



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

「～の授業がどの程度わかりますか（中学校）」

	国語		社会		数学		理科		英語	
	多い	ほとんど								
1年	8.7		20.2		20.1		15.1		20.5	
	7.0	1.7	15.2	5.0	14.7	5.4	11.6	3.5	13.8	6.7
2年	12.6		20.8		24.1		18.0		26.2	
	10.0	2.6	15.3	5.5	16.9	7.2	13.4	4.6	16.9	9.3
3年	10.7		19.4		22.1		12.4		28.3	
	8.5	2.2	14.7	4.7	15.7	6.4	9.5	2.9	18.7	9.6

「多い」: 分からないことが多い 「ほとんど」: ほとんど分からない

平成15年度教育課程実施状況調査

外国語活動の目標

外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。



外国語活動の目標

外国語を通じて、

- ①言語や文化について体験的に理解を深める
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
- ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませる

コミュニケーション能力の素地を養う。



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

中学校外国語科の目標

外国語を通じて、言語や文化について理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。



中学校外国語科の目標

外国語を通じて、

- ①言語や文化について理解を深める
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る
- ③聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。



小学校外国語活動の目標

外国語を通じて、

- ①言語や文化について体験的に理解を深め、
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、
- ③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、
コミュニケーション能力の素地を養う。

中学校外国語の目標

外国語を通じて、

- ①言語や文化について理解を深め、
- ②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、
- ③聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。



MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY JAPAN

指導者について

- 指導計画の作成や授業の実施
学級担任の教師または外国語活動を担当する教師が行う
- 授業の実施
ネイティブ・スピーカーの活用に努める，地域の実情に応じて，外国語に堪能な地域の人々の協力を得る



20年度

「小学校外国語活動研修ガイドブック」

DVD (TT)

中核教員研修

校内研修

21年度

「英語ノート」

「指導資料」

音声CD

デジタル教材

指導者養成研修

実践研究事業

22年度

研究開発学校

DVD (授業)

23年度

24年度

新教材

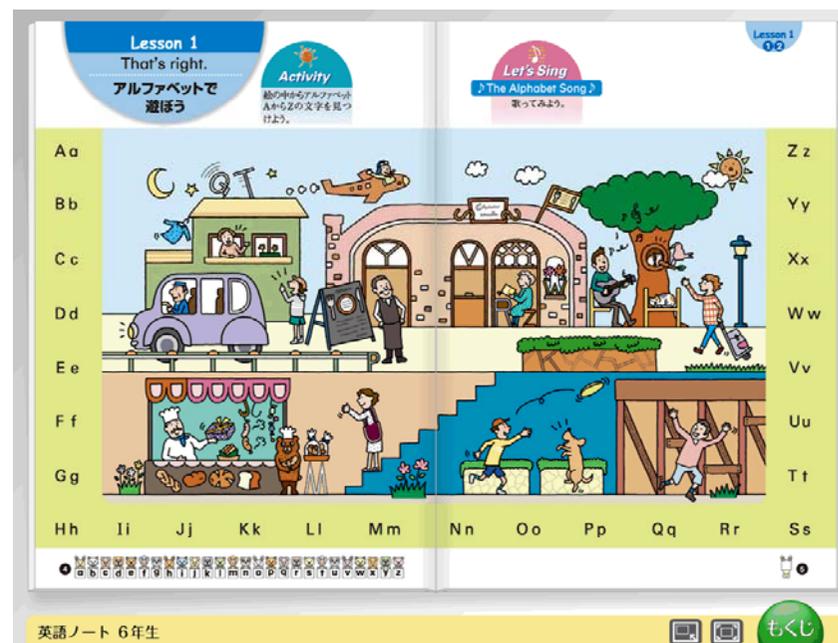


MEXT

MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

『英語ノート』

- 全国の希望する小学校に「英語ノート」等を21～23年度配布
- 中核教員研修（20,21年度、5日間程度、各自治体）
- 現職教員研修（20～21年度のうち2年間で30時間程度、各校）

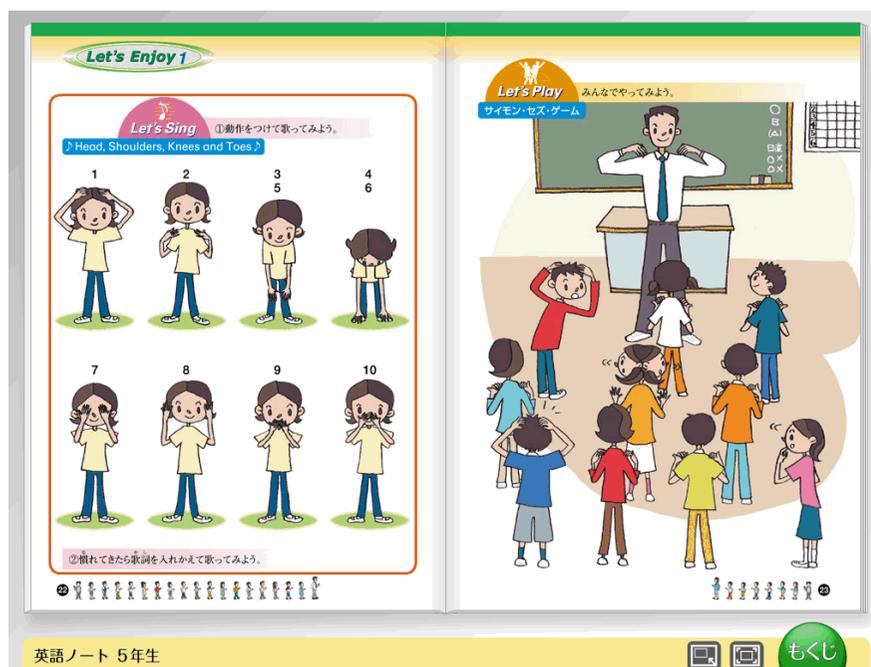


『英語ノート』

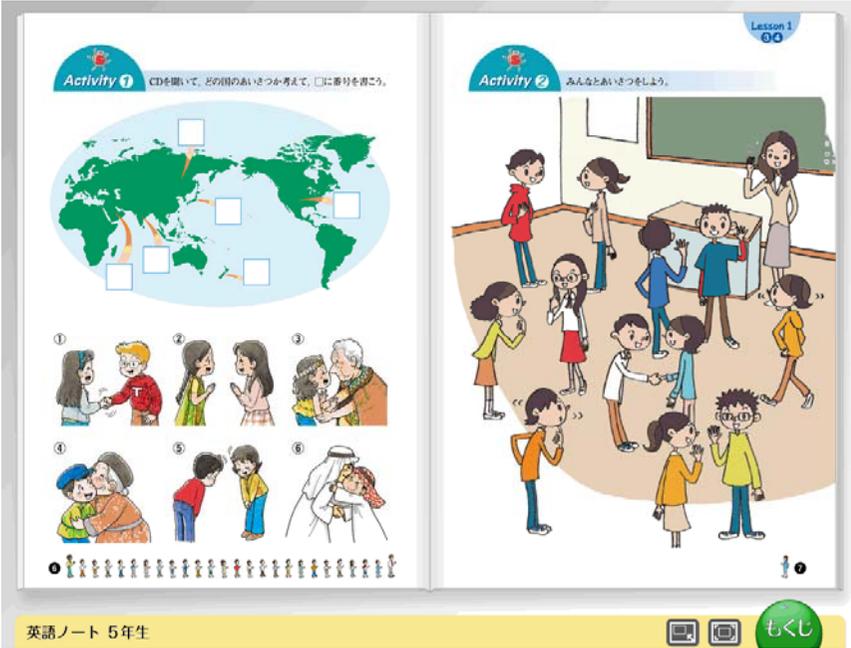


「英語ノート」

- 歌やゲームなどを通して，児童のコミュニケーション能力の素地を育成
- それぞれの指導場面における歌や会話は，英語ノート付属CDやデジタル教材に収録

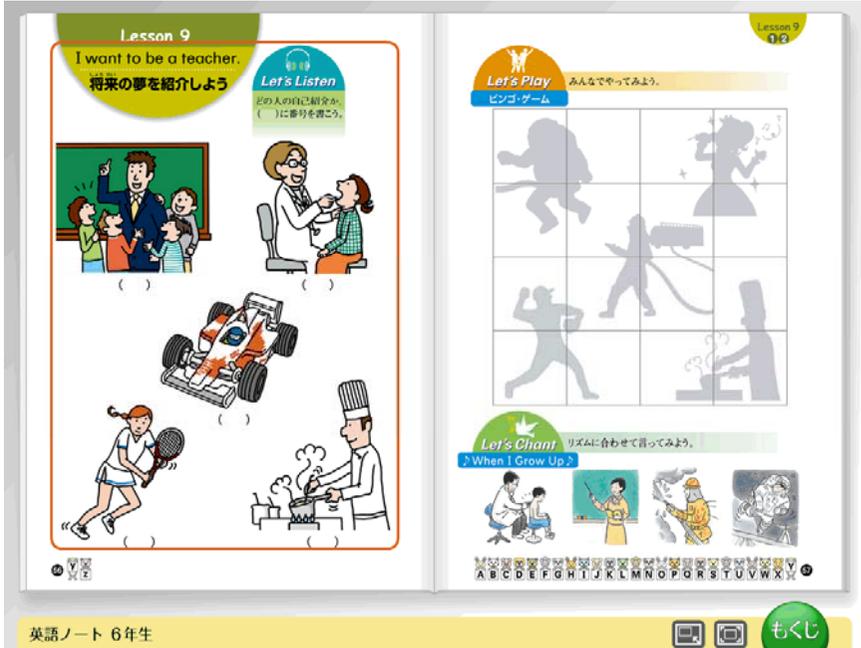


「英語ノート」



「英語ノート2」 Lesson 2 「将来の夢を紹介しよう」

「英語ノート1」 Lesson 1 「世界の「こんにちは」を 知ろう」



「英語ノート」

- 教師用指導資料には、各レッスンの目標や扱う表現、授業の流れを掲載

(例) 「英語ノート1」 レッスン3 「名刺交換をしよう」

